

# NPO法人SBSの活動指針

## 少子高齢者社会の福祉の充実を目指して(案)

**【目的】** 特に一人暮らし高齢者(注-1)のADL(日常生活動作)活性化及び安心安全を求める(注-2)併せて少子化対策として、待機児童の削減を目指し、子育て世代に働く場を提供すると共に、育児の悩みを解消する(注-3)。

(注-1) ここでの高齢者は一次予防(すべての高齢者に対応)  
二次予防(要支要介となるおそれのある高齢者)を示す。  
三次予防(要支要介状態にある高齢者)は含まない。  
三次予防高齢者は介護保険制度の理念による。

(注-2) 特に一人暮らしの高齢者に対するシルバーハウジング対策として。

(※)介護保険制度とは無関係の国交省が制度化した有料老人ホームで高齢者専用賃貸住の一部(一定の住居水準を満たさないもの)。

(※)介護保険制度のサービス付き高齢者住宅助成事業(特定施設入居者介護の指定を受けた住宅等)とは別のもの。

(※)この制度は研究課題。

(注-3) 福祉リクリエーション – 高齢者、障害者に活動を通じて社会参加を促し、日常生活の遊び化を通じて楽しさを共有し、普段の基礎的生活を工夫することでQOLを高める。

**【活動】** 高齢者及び障害者のQOL(生活の質)を高めるために、様々なレクリエーションを通じて、生活に楽しみ、潤い、生き甲斐を持っていただくためのサロンの開催、運営(注-4)

- ・料理 – 単に料理をするためではなく、レストランに行くような楽しみ方で食事をする。
- ・音楽会 – 誰でも使える楽器(カスタネット、木琴等)を使用して愉しむと共に、時に演奏会等を開催し、皆で合唱したりする。
- ・体操 – 手足の筋肉をつけ指を動かす等、脳を刺激する高齢者・障害者向けの体操。
- ・容姿 – パーマ、美容、ネイルサロン等容姿を整える。

- ・花ー                    フラワーアレンジメント等気持ちを明るくする。使用した作品は自室に飾る。
- ・手芸等ー              陶芸、折紙、編物等、指を使う作業。
- ・その他ー              高齢者、障害者、子供等が参加するハイキング、写生会等。

(注-4) 子育て世代の母親(父親)が子供連れで一人暮らしの在宅高齢者を迎えに行きサロンに通う。帰りも同様に送り届ける。サロンはシルバーハウジングに併設するのが理想的だが、公共の施設を利用することが考えられる。

### 協議を必要とする行政機関

東京都	社会福祉協議会(台東支部)
台東区	区民課ーNPO との共同作業
	健康課
	福祉課(高齢福祉課長と 4 月 10 日に面会)
	住宅課
	企画課
	課題ー縦割り行政をいかに繋げるか。
	台東区のふれあい福祉サロン活動の現状調査
	社会福祉法人 台東区社会福祉協議会

以上